

令和6年度日本都市計画学会九州支部研究発表会プログラム

日時：令和6年4月20（土）10:00～11:10（オーラルセッション）、15:10～17:00（ポスターセッション）

会場：九州大学西新プラザ（福岡市早良区西新 2-16-23）

1. オーラルセッション（10:00～11:10） 司会：猪八重 拓郎（佐賀大学）

「木造密集市街地における小規模店舗の出店に貢献する物的・社会的要因 —福岡市中央区六本松1丁目の事例に着目して—」 岩淵 丈和（九州大学）

「The dynamics of inner-city settlement in Surabaya, Indonesia」 Tanti S R NASUTION（Kyushu University）

2. ポスターセッション（15:10～17:00）

会場	ポスタータイトル	発表者	所属
A 1F 展示コーナー	生活道路交差点における交通事故分析へのStreet View 画像データの適用可能性	吉本光輝	熊本大学
	福祉のまちづくりワークショップにおける交通弱者の地域点検バリアフリーマップの作成	江川凌平	崇城大学
	熊本地震から学び南海トラフ地震に活かす防災まちづくり手法の提案と検証	金子哲也	崇城大学大学院
	酒蔵の再生によるメタバースを活用した郊外型まちづくり手法の提案と実践的取り組み	豊田崇樹	崇城大学
	水害常襲地における市街地の形成過程 —諫早市街地を事例に—	津川翔	長崎大学
	非日常性に着目した森林空間の活用に関する研究	清水龍太郎	熊本大学
	地域に波及効果を及ぼす空き地・空き家の利活用に関する研究 杵築市城下町地区におけるケーススタディ	松島大真	大分大学
	持続可能な観光地形成の要件と温泉観光地の土地利用マネジメントに関する研究	長弘颯太郎	大分大学大学院
	地域交流拠点の設置における試行錯誤を通して見えた成果と課題	安田結奏	佐賀大学大学院
B 2F 中会議室	商業地街路における子どものアクティビティの実態把握に関する研究	田中龍人	熊本大学
	熊本市バリアフリーマスタープラン策定に向けたバリアフリー整備に関するロードマップ	大窪禅	崇城大学
	熊本市中心市街地における建物・店舗のバリアフリー整備状況に関する実態調査と分析	大塚虹彦	崇城大学大学院
	商店街のイベント活動におけるメタバースを活用したまちづくり手法の提案 メタバース商店街とリアル商店街をつなぐ新たなまちづくり手法の提案	帶屋賀聖	崇城大学
	福岡市の公開空地におけるクスノキ・ケヤキの生育・管理状況と平面計画に関する一考察 —福岡市の公開空地59件を対象として—	篠原莉子	九州大学大学院
	観光地タイプ別にみる観光が作用した地域課題とその改善方策に関する研究	宇土沙希	大分大学
	歴史的風致の維持及び向上に関する法律と景観法に基づく規制や助成基準の連携実態	清川智裕	大分大学
	歴史的町並みにおける利活用が進まない空き地・空き家の条件分析と利活用の方策	林成峻	大分大学大学院
	都心部街路におけるポイ捨てゴミの現状と影響要因の解明に関する研究～福岡市中央区天神駅周辺地域を対象として～	栗屋真生	九州大学
C 2F 多目的室	過疎地域でのデマンド交通の利用に関する課題と新規複合サービス案の基礎的調査－宮崎県西米良村でのデマンドバス導入事業を対象として－	原口愛菜	九州工業大学
	熊本市中心市街地における交通弱者のまちなか活動における問題と課題	菊川結人	崇城大学
	AR技術を活用した視覚障害者のまちなか移動支援手法に関する研究	藤原拓巳	崇城大学大学院
	歩行者利便増進道路の指定が及ぼす路線価への影響に関する考察	福山太平	福岡大学
	歩行体験に基づいた都市景観の記憶に関する研究	松本一歩	熊本大学
	景観ガイドラインの策定における地区の細分化と建築物の意匠特性	後藤大輝	大分大学
	都市郊外における地域コミュニティ維持の要件と 交流拠点施設の役割に関する研究 -別府市内成地区・亀川地区の評価と全国就労継続支援B型施設の取り組みの傾向-	西村凌	大分大学
	歴史的景観保全のための住民参加型まちづくりに関する研究	高辻小春	熊本大学